

日本バドミントン協会メールマガジン 【2026年2月号】

====日本バドミントン協会メールマガジン | 2026年2月号====

いつも日本バドミントン協会の活動に温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。

今月のメルマガでは、S/Jリーグ 2025 TOP4 Tournament やアジア団体選手権 2026、ウェブアプリ「PlayBird」などをお届けします。ぜひ最後までご覧ください！

■HOT TOPIC:「S/Jリーグ 2025」いよいよ頂上決戦へ — TOP4 Tournament (2/28-3/1) 開催！

2025年11月に開幕した日本最高峰リーグである「S/Jリーグ 2025」のレギュラーシーズンが終了し、上位4チームで優勝を争う「TOP4 Tournament」に進出するチームが決定しました。

男子は、昨年王者のトナミ運輸を筆頭に、上位陣が安定した強さを発揮。結果として昨シーズンと同じ顔ぶれがTOP4に名を連ねました。ハイレベルな戦いが、今年も期待されます。

一方、女子リーグは混戦のレギュラーシーズンとなり、昨年チャンピオンの再春館製薬所が創部初めてTOP4進出を逃すなど、どのチームが優勝するのか予想が難しい顔ぶれとなっています。

マイナビ PRESENTS
バドミントンS/Jリーグ 2025
TOP4 Tournament
2026.2.28 3.1 横浜BUNTAI

MENS TOP4

5ブロック 1位 桃田賢斗 NTT東日本	VS	5ブロック 2位 保木卓朗 トナミ運輸
5ブロック 1位 霜上雄一 日立情報通信 エンジニアリング	VS	5ブロック 2位 渡邊航貴 BIPROGY

WOMENS TOP4

5ブロック 1位 福島由紀 岐阜Bluvic	VS	5ブロック 2位 五十嵐有紗 BIPROGY
5ブロック 1位 櫻本侑子 ヨネックス	VS	5ブロック 2位 山北奈緒 NTT東日本

マイナビ PRESENTS
S/J LEAGUE 2025
TOP4 TOURNAMENT
チーム日本一決定戦

年間王者決定戦である「TOP4 Tournament」は今シーズン冠協賛をいただき、「マイナビ PRESENTS バドミントンS/Jリーグ 2025 TOP4 Tournament」として、横浜 BUNTAI で開催されます。決勝ではビデオ判定の「チャレンジ」導入に加え、場内解説サービス「チアホン」も実施予定です。初めて観戦される方にも、より分かりやすく、より臨場感をもってお楽しみいただけます。ぜひ、会場へ足をお運びください！

本文書を無断でダウンロードし、他への転載を禁止します。福島県バドミントン協会 総務委員会

日本バドミントン協会メールマガジン【2026年2月号】

場内ライブ音声解説を実施!

音声配信プラットフォーム「CHEERPHONE」(チアホン)で豪華コメンテーターの解説をリアルタイムに配信します!

決勝限定!

メイン解説!  舩田 圭太 日本バドミントン協会 ・オリンピック3大会連続出場 ・全日本総合優勝多数 ・元トナミ運輸選手	ゲスト解説!  永原 和可那 ・東京/パリ五輪女子複入賞 ・世界選手権二連覇 ・元世界ランキング一位	ゲスト解説!  栗原文音 ・リオ五輪混合複入賞 ・全日本総合混合複優勝 ・元 BIPROGY 選手
---	--	---

視聴方法 **場内生解説** **質問機能付き** **全員無料!**

Step 1 **読み取り**  **Step 2** **チャンネルをタップ**  **Step 3** **視聴開始** 

※ご自身でイヤホンをご持参ください。
※サービスをご利用いただく際発生する通信費用はお客様ご自身のご負担となります。
※携帯端末を十分に充電した状態で来場ください。モバイルバッテリー等の予備充電器もご準備ください。

<大会概要>

▼日程

2月28日(土)準決勝・残留決定戦

3月1日(日)決勝

※チャレンジ、チアホンは決勝のみ実施

▼会場

横浜 BUNTAI

▼出場チーム

【男子】NTT 東日本、トナミ運輸、日立情報通信エンジニアリング、BIPROGY

【女子】岐阜 Bluvic、NTT 東日本、ヨネックス、BIPROGY

▼大会詳細はこちら

https://www.sj-league.jp/schedule_ticket/info/2025/yokohama_top4/index.html

本文書を無断でダウンロードし、他への転載を禁止します。福島県バドミントン協会 総務委員会

日本バドミントン協会メールマガジン【2026年2月号】

■BIRD JAPAN TOPIC:アジア団体選手権 2026 振り返り (by 強化戦略本部・舛田圭太)

2月3日から8日にかけて、アジア団体選手権 2026 が中国・青島で開催されました。

この大会は、男女別の団体戦(3シングルス・2ダブルス/全5試合)で争われるフォーマットで、2026年5月に開催される世界国別団体戦「トマス杯・ユーバー杯」のアジア予選も兼ねた重要な大会です。

男子チームは、決勝戦で中国を3-0で破り、見事優勝を果たしました！今大会での優勝は男子にとって初の快挙であり、団体戦としては2014年のトマス杯以来の優勝となりました。

チームワークの良さ、一人ひとりが役割を全うする姿勢が非常に印象的でした。

さらに、試合後にはチーム席のゴミを残さず、椅子を整えて会場を後にするなど、競技力だけでなく、コート内外での振る舞いに対しても、日本代表としての姿勢がアジア各国から称賛された大会となりました。

女子は準々決勝でチャイニーズ・タイペイに2-3と惜しくも敗れましたが、男女ともに5月開催のトマス杯・ユーバー杯への出場権を獲得しました。

5月に向けて、ここからさらに個々のレベルアップを図り、チームジャパンとして一致団結して世界一を目指して頑張っていきたいと思います。引き続き、皆さまの温かいご支援・ご声援をどうぞよろしくお願いいたします。



■News:バドミントンをもっと身近に！「PlayBird(プレイバード)」のご紹介

本文書を無断でダウンロードし、他への転載を禁止します。福島県バドミントン協会 総務委員会

日本バドミントン協会メールマガジン【2026年2月号】

「PlayBird(プレイバード)」とは、バドミントンを“もっと気軽に、もっと身近に”楽しむために生まれたウェブアプリです。空いた時間に、ひとりでも、自分のレベルに合った仲間とプレーできる機会を広げることを目指しています。

バドミントンは、年齢や経験を問わず親しみやすいスポーツです。その一方で、「一緒にプレーする仲間が見つからない」「どこで参加できるのか分からない」「既存のコミュニティに入るの少しハードルが高い」と感じている方も少なくありません。情報がさまざまな媒体に分散していることもあり、“やってみたい”気持ちがあっても、一歩を踏み出しにくい状況がありました。

PlayBirdは、そうした声に応えるサービスです。単発参加や当日参加にも対応し、レベル設定機能によって安心してプレーできる環境を整えています。また、ユーザー自身もいつでも自由にイベントを立ち上げることができます。

「まずは一度やってみたい」「少人数でも気軽に集まりたい」——そんな思いから、誰でも気軽にプレーの場をつくって募集することができます。

加えて、サークル向けにはメンバー募集や出欠管理、人が集まらない時のスポット参加募集、全体連絡機能などを備え、日々の運営もサポート。初心者から経験者まで、それぞれが無理なく、自分らしくバドミントンを楽しめる仕組みとなっています。

日本バドミントン協会は、バドミントンに関する様々な普及やサービス向上に日々取り組みながら、日本全国どこでも気軽にバドミントンが楽しめる環境づくりを進めており、PlayBirdを応援しています。

ぜひ、皆さまも一度 PlayBird を使って気軽にバドミントンに触れてみてください！

▼PlayBird(ウェブアプリ)はこちら

<https://playbird.jp/>

©日本バドミントン協会(BAJ)

※本メールマガジンの内容の無断転載・無断掲載はご遠慮ください。

◆日本バドミントン協会公式 HPはこちら

<https://www.badminton.or.jp/>